

同志社会計人

第26号

〈今治教会〉



C O N T E N T S

会長就任のご挨拶	2
ご挨拶（同志社大学商学部教授）	3
第27回定期総会のご報告	4
冬季研修会のご報告	5
日商簿記資格試験講座講師体験記	6
寄付講座講師体験記	6
中野淑夫 初代会計人会会長 追悼	7
九州支部だより	7
新島先生の足跡を訪ねて 今治ツアー	8
2022年度 寄付講座のご報告	9
2023年度 寄付講座のご案内	10

同志社会計人会（令和4年～5年度）組織図	11
第28回定期総会のお知らせ	12
新入会員紹介	12
編集後記	12

❖ 発 行 ❖ 同志社会計人会
❖ 発行人 ❖ 平 松 展 三
❖ 発行日 ❖ 令和5年8月1日

会長就任のご挨拶

会計人会26年 税理士35年 同志社50年

同志社会計人会 会長 平松 展三 のぶ かず



2022年9月に同志社会計人会の会長に就任することとなりました、税理士の平松展三でございます。皆様方のご協力を得て会務の運営に尽力させていただく覚悟でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年早春から世界的な猛威をふるったコロナ禍は我が国にも大きな影響を与えました。企業活動や学校活動の沈静化が要請される中、私たち同志社会計人会の活動も大きな制限が加えられました。2020年の寄付講座は教室での開催ができず、止む無くネットでの講義となりました。翌2021年は会計人会の総会の開催ができず、ネットでの総会開催と大変厳しい環境下での会務運営となりました。そのような環境下でも植田前会長の冷静なご判断の下、学生に向けて講義の機会が提供でき、またネット総会を通して会務運営が図られたことは素晴らしい成果となりました。

そして2022年9月より植田前会長の後を受け、私が同志社会計人会の会長に就任させていただきました。おかげさまでコロナ禍も沈静化し社会的にも休止していた行事やイベントなどが再開される時期となりました。9月17日の会計人会の総会には実に50名もの会員の方々にお集まりいただくことができました。皆さんが久しぶりの再会の時間を心より祝っていただいているようなひとときでした。会場の場でもお話をさせていただきましたが、これを新たな出発の機会と考え、これからの2年間をより実り多き会計人会の時間を作っていこうと考えました。

それでは、今年度の同志社会計人会の活動実績と予定について簡単にご紹介してまいります。

(1) 商学部寄付講座

2022年度の同志社大学寄付講座は9月にスタートして1月に無事終了しました。本年の寄付講座も前年までの内容を踏まえて、志賀理教授のご指導の下、9月より全15回を開催する予定です。現在講義内容の確定と講師の人選を進めております。

(2) 同志社会計人会冬季研修会

2023年2月4日に同志社大学で開催されました。講師は公認会計士梨岡英理子先生。講義のテーマは「SDGsが企業経営に与える影響～気候変動問題の背景と対応について」でした。会計の世界で最も先端である分野について分かりやすく説明していただきました。

(3) 同志社会計人会定期総会

2023年9月23日(土)に京都駅前の都ホテル京都で開催予定です。総会後の講演会の講師は会計検査院 森田祐司氏。会計検査院の社会的役割を

お話いただきます。

(4) 四国今治への研修旅行

2023年6月2日～3日に実施されました。同志社3代目総長横井時雄氏が新島先生の助力を得て教会を設立された地を訪ね、翌日は別子銅山の東平(とうなる)地区を訪ねました。会計人会会員他16名が参加しました。

(5) 商学部卒業式参加

2023年3月22日、商学部の卒業式に会計人会役員5名が参加しました。公認会計士試験(2次)の合格者3名に記念品を直接贈呈し、会計人会として、栄誉を称えました。

(6) 会計人会のホームページを新設

2022年9月より同志社会計人会のHPが新たに発足。行事の予告や活動状況の報告などをタイムリーに伝達できるようになりました。

(7) その他

2023年の商学部の課外授業である商業簿記・工業簿記の講座に、講師を派遣しております。

2022年9月に新執行部がスタートしてはや1年近くとなります。皆様の積極的なご協力を得て、何とか活動を重ねてきております。おかげさまでHPに対する皆様の関心は高く、毎月のように新入会員の方のお声を頂いております。特に若い会員の方からの入会申し込みが増えております。これらの方々がネットでのお付き合いではなく、是非とも総会研修会にご参加いただき、直にお話できる機会を得られることを楽しみにいたしております。

またこの度、樹徳会(商学部OB会)様と私のお付き合いが新たに始まりました。同志社の中では大きな組織である樹徳会様との提携を通して、新たな人脈を確立し会務の発展に寄与したいと考えております。

私は今年63歳となります。同志社中学校に入学したのは13歳の時でした。学校だけの付き合いならば10年でしたが、資格をとり会計会に入れていただき、気が付けば50年の永きにわたって同志社と関わりを持たせていただきました。中学3年生で創立100年の記念行事に参加しましたが、ここでまた150年の記念行事を迎えることができそうです。今日の私の人間関係の最も大きな部分は同志社関係の人脈です。何とか同志社にお礼がしたいとの一念で同志社会計人会会長の役割を引き受けさせていただきました。

皆様のお力添えとご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

同志社大学商学部 教授 山本 達司



日頃から同志社会計人会におかれましては、同志社大学商学部の会計教育にご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。

私が本学に着任したのは2018年4月で、2020年4月から2022年3月まで、商学部の授業全般の責任者である教務主任を務めました。この2年間は、折しも日本中がコロナ混乱の真ただ中でした。大変でしたが、貴重な経験もいたしましたので、その経験をご報告することで、ご挨拶に代えさせていただきたいと思います。

2020年4月1日、私の教務主任としての最初の仕事は、入学式中止でした。同志社大学開学以来、はじめてのことだったと思います。何の前例もないまま、新入生に履修登録のガイダンスだけは行わなければなりません。寒い雨の日に、換気を確保するために窓を全開にして、ガイダンスを行ったことを鮮明に覚えています。

そしてすぐに、ゴールデンウィークまでは休講と決まりましたが、5月からは通常の授業が予定されていました。ところが、4月中にコロナ感染がさらに拡大したため、春学期、秋学期の大学閉鎖、ほとんどすべての授業をオンライン授業とすることが全学的に決まりました。

学生にとってはもちろんですが、教員にとっても、これは衝撃的な出来事でした。なぜなら、ほとんどの教員は、それまでにオンライン授業の経験がありません。そんな中でゴールデンウィークという短期間でオンライン授業の技術を修得し、教材をWeb上にアップロードしなければなりません。残念ながら、マスメディアでは、対面授業を行わないのは大学の怠慢であるとの批判が多くありました。しかし、ゴールデンウィークという短期間に、全教員がオンライン授業の技術を修得し、2020年度の授業を行ったのだから、教員は最大限の対応を行ったと考えています。

オンラインの経験がなかった私も、オンライン会議支援ツールZoomの使い方をマスターし、タブレット端末をパソコンに接続して電子黒板として利用し、電子ペンを使って授業を行いました。

そして、大学の教育支援システム(e-class)に学生への課題をアップロードし、学生の解答が自動採点されるように設定しました。これにより、通常の対面授業とは変わらない、いやそれ以上の質の高い授業を提供できたと考えています。

2021年度以後は、大学での授業制限も段階的に緩和されました。それでも教室にはコロナ定員が設定され、受講者数がコロナ定員を超える授業については、オンライン授業や対面・オンライン併用授業が行われていました。

2023年4月からは、大学での授業制限もほとんど撤廃され、通常の対面授業が再開されています。しかし、コロナ混乱期に学んだオンライン授業の技術については、今後の教育改善に利用する価値が大きいと思います。

とりわけ、簿記、原価計算のような計算科目では有用です。これらの科目では、授業中に学生がわからなくなると、それ以後の授業にはついていけません。しかし、対面授業を行うとともに、オンライン授業をアップロードしておけば、授業公開中なら、学生は理解できるまで繰り返し授業を視聴することができます。これによる復習効果は絶大です。さらに、簿記、原価計算のような計算科目では、複数の会計帳簿間での数字の流れが重要です。しかし、黒板にはすべての帳簿を書くことはできません。この問題に対しては、タブレットを電子黒板として利用し、電子ペンで帳簿に書込む解説が有用です。小さな字で印刷された教材も、タブレット上でピンチアウトすれば拡大できるし、電子ペンで種々の色を使えば、数字の流れについてわかりやすい解説が提供できます。

コロナ感染の拡大は大学教育に大きな制限を強いました。しかし、そこで得られた技術は将来の教育効果の向上に大きく貢献する可能性があります。今後、対面授業において、オンライン授業の技術を最大限に利用しながら、教育効果を向上させていきたいと思っています。

同志社会計人会におかれましては、今後とも暖かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

同志社会計人会 第27回定期総会 並びに 研修会・懇親会開催のご報告



同志社会計人会 副会長
宮井 秀明

2022年9月17日(土) 同志社大学今出川キャンパス良心館203号教室において同志社会計人会の第27回定期総会並びに研修会・懇親会が、下記の通り3部構成で開催されました。今回は、コロナで控えておりました研修会・懇親会を3年ぶりに同時開催することができました。定期総会も含めて、すべてが、リアル開催となり、コロナ前に戻りました。ただし、例年、会場として利用しておりました新島会館は、利用休止中でありまして、今回は、大学学内での開催となりました。

第1部は、15時30分から第27回定期総会です。

開会に先立ちまして、去る令和4年7月28日にご逝去されました故中野淑夫相談役に対しまして、同志社会計人会創立以来、多大なる会へのご貢献を頂いた故人をしのび、黙祷を捧げました。

議案の内容は、次の通りです。

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告書の承認

第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認

第3号議案 次期会長選出の件

第1号議案及び第2号議案について、植田益司会長より、上程され、両議案とも満場一致で承認されました。なお、第1号議案に関して、西村監事より監査報告がありました。さらに、第3号議案として、今回の総会で、植田会長が2年間の任期満了となりますので、新会長として現副会長の平松展三氏(税理士、1983年卒業)が選出され、承認されました。その後、平松新会長の指名により、宮井秀明(公認会計士、1986年卒業)小林由香(税理士、1987年卒業)永谷真幸(公認会計士、1997年卒業)の3名が副会長に再任・選任されました。

第2部は、16時15分から研修会です。ワイエムエー株式会社代表取締役社長の三谷康生(みたにやすお)先生に、『関西流M&A～今語られる業界の光と影』というテーマでご講演いただきました。なお、三谷先生は、同志社大学大学院ビ

ジネス研究科の嘱託教員でもあられます。ご自身のM&Aアドバイザーとしてのご経験から、事業承継M&Aの特徴と注意点や事例にもとづいたM&Aを成功させるための準備と心構えを解説いただきました。出席された各会員にとって、大変有意義で興味深い内容の研修会となりました。

第3部は、18時から懇親会です。懇親会の会場は、同志社大学寒梅館7階のフレンチレストランwillです。着席フルコースでの会食形式となりました。

定期総会時と同様、故中野淑夫相談役に対する黙祷を行った後、植田会長よりの挨拶があり、引き続き山本達司同志社大学商学部教授、百合野正博同志社大学名誉教授よりご来賓ご祝辞を頂いた後、同志社会計人会松田進相談役のご発声により乾杯となりました。

会食中には、同志社大学P.S. アコースティック音楽サークルによるアコースティックギター演奏があり、いい雰囲気を醸し出してくれていました。演奏後も、南美樹樹徳会理事長、土橋純二郎クローバー社会保険労務士会副会長からご来賓ご祝辞をいただきました。

その後、公認会計士試験合格者・税理士新規登録者へのお祝い品贈呈等があり、最後に平松新会長以下新体制の執行部のご紹介がなされました。

和気藹々の雰囲気の中、恒例のCollegeSongを全員で合唱してお開きとなりました。



懇親会の様子

定期総会 手土産



冬季研修会のご報告

同志社会計人会 副会長 永谷 真幸

はじめに

2023年2月4日（土）、同志社大学今出川キャンパスにおいて、『SDGsが企業経営に与える影響—気候変動問題の背景と対応について—』と題して、研修会を開催致しました。講師には、公認会計士の梨岡英理子先生をお迎えしました。

講義内容

梨岡先生に、SDGsが企業経営に与える影響を網羅的に解説して頂きました。概要は以下の通りです。

① SDGsと企業への影響

SDGs 制定の背景や、これを企業経営に取り込むことの重要性について説明して頂きました。SDGs はすべての国のすべての人が取り組むべき目標でもあり、民間の企業もこれに含まれます。

企業は、SDGs の観点から組織において何が重要であるかを分析（マテリアリティ分析）し、これを中期経営計画や事業計画に具体的な形で落とし込むこと等が必要となります。SDGs を経営に取り入れることで、企業価値が向上し、企業の持続可能性が高まるという効果が生じることとなります。

② 気候変動問題と企業への影響

気候変動問題として、近年、各国でCO₂の排出量の増加や、これに起因する世界の平均気温の上昇が問題となっています。そのため、各国において、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す長期的な取り組みがなされています。日本でも、2050年のカーボン・ニュートラル達成に向けて、グリーン成長戦略（経済産業省）が掲げられ、企業においてもこれを念頭に置いたビジネスモデルの構築、戦略の策定や情報開示が求められます。

③ SDGs 企業を支援する仕組み

2050年のカーボン・ニュートラル達成に向けて、低炭素社会から脱炭素社会への移行が求められます。このような環境下で、現在 ESG 投資が注目されています。ESG 投資とは、財務情報に加えて、環境・社会・ガバナンスの要素をも考慮した投資を意味します。社会課題の解決に積極的に取り組む企業に対する投資が活



性化することで、さらなる社会価値が創造されることが期待されます。

また、企業の SDGs 活動を支援すべく、カーボン・ニュートラルや GX のための補助金制度も設けられています。

④ 企業に対応が求められるもの

上場企業は、統合報告書において、SDGs への取組等の非財務情報を開示することができます。また、有価証券報告書においては、サステナビリティ情報に関する開示が義務付けられるに至りました。他方、非上場会社においては、自主的な情報開示はできますが、現状、直接的な開示義務はありません。今後の動向については、引き続き注視すべきではあります。

⑤ 今後の企業経営への課題をまとめて代えて

SDGs の主体は組織ではなく人間です。組織のために SDGs を実践するものではなく、所属メンバーが、組織を使って SDGs に貢献することが重要となります。

また、気候変動対応は、産業構造等の転換を通じて、大きな経済成長を促す可能性があります。ESG 投資の拡大により、経済・社会全体に好循環がもたらされることが期待されます。

おわりに

企業経営における SDGs といえば、上場企業を中心に話題になっていることで、他方、我々会計専門職としては、クライアントから SDGs 関連の質問があった際にどう答えるか、依頼にどう応えるか、といった後方支援的な位置付けである、と考えていた時もありました。

しかしながら、自ら会計事務所や一般事業会社の経営にも日々関与する中で、決して他人ごとではなく、自分自身も SDGs を達成するための一当事者ではなからうか、ということに（今更ながら）気がきました。

今般の梨岡先生の研修内容を何度も思い出しつつ、当事者意識を持ちながら、今後の業務運営に活かしていきたいと思います。

日商簿記資格試験講座 講師体験記

2級商業簿記担当講師
税理士 高岡 侑毅



2023年4月より日商簿記資格試験講座で2級商業簿記の講師を担当しております、法学部2005年卒、税理士の高岡と申します。2023年4月開講の講座から、初めて講師を担当させて頂きました。講義は毎週16時40分開始で90分×2コマ連続講義(=計180分)という長丁場となります。

初回講義は特に緊張しましたが、教室に入り学生の皆さんを見渡せば、どなたもやる気に満ちた聡明なお顔をされており、身が引き締まる思いをしたことを鮮明に覚えています。また、受講生の大半が大学1年生という事実にも非常に驚かされ、大学入学間もない時期から簿記2級の講座を受講される姿勢に感動いたしました。

学業やサークル活動、部活動、アルバイト等にお忙しい学生の皆さんのためにも、第一優先の目標は当然、試験の合格ではありますが、それだけでなく、会計や税務に少しでも興味を持っていたかのように、また、将来、企業や会計事務所に就職され、実際に実務に就かれた際に何かの役に立つようにと思い、講義に取り組みました。テキ

ストをそのまま解説するだけでなく、実際の実務ではどのように取り扱われるか、なぜこのような処理になるのかを背景や理屈もふまえて板書しながら解説させて頂きました。

簿記の知識は、会計・経理の道に進まずとも、将来的にどの職種でも必要になるでしょう。例えば、一般企業に就職し、営業職に就いたとしても自分が販売する商品の粗利益や値下げの許容範囲を計算したり、また、メーカーの製造ラインに就いたとしても製品の原価計算をしたりと、あらゆるビジネスシーンで活用できる万能な知識だと感じます。もっとも、現代では若い頃から起業や副業される方がこれから増々多くなると予想され、その際に個人事業の利益計算や採算性、資金繰り等を検討するために簿記の知識は必須になると思います。

そういった意味でも、日商簿記2級を学習し合格することが、今後、学生の皆さんがこれまでにない厳しいビジネス環境下で競争を勝ち抜いていくための一歩になればと心から祈っております。

同志社会計人会寄付講座の講師を務めて

株式会社 南陽商会 代表取締役
同志社大学商学部樹徳会 理事長 南 美樹



同志社会計人会の皆様 初めまして。株式会社南陽商会 南 美樹です。

今般 新会長 平松 展三 先生のご依頼で、貴会寄付講座講師を務めさせていただきました。

「中小企業における会計の役割 経営者の立場から」と大それたタイトルで 現実に弊社が使っている下記の資料を基に実態を赤裸々に話しました。

■月次資金繰り表・入金表・請求との差異表・手形精算表(月初第一営業日)

■速報 売上/仕入/経費 金額表(月初第二営業日)

■年間資金繰り表 毎月10日前後

■月次試算表 毎月15日ごろ

■売上中身表 毎週更新(結果は翌月すぐに作成・毎週の営業報告をもとに作成)

■支払時に作成する 粗利表

■三か月先支払予定表(支払手形発行後作成)

学生の皆さんには どのように聞こえていたかはアンケートで少しは知りましたが、実践を行わないと、なかなか理解しにくいことではなかったでしょうか？

経営を健全に行うために、数字の裏付けを持ちながら考えていくことが、経営に生きる会計だと思います。そこに、経営理念や経営目標が加わり、

全社一丸で行動していきます。

予定・計画通りにはことは進まないのが世の常ですので、『南陽商会=なんとかしようかい!!』という会社のモットー(精神論)で切り抜けていくしかないと思っています。

このような中小企業経営に興味をもって継承する方が増えてくれば、日本の製造業も復活してくれるのではないのでしょうか？

最後に、1922年同志社専門学校高等商業部が創立されてから100年が経ちました。

コロナ禍で1年繰り越しましたが、今年2023年10月7日(土)には ホテルオークラ京都において同志社大学商学部創立100周年を祝う集い(仮称)を商学部主催、樹徳会後援で開催いたします。

商学部に入學すれば、商学研究科に進めば、樹徳会員です。是非、今を契機に樹徳会活動にもご参画ください。先生方のご指導やご助言で経営者の不安が和らぎます。どうぞ、樹徳会にもお力をお貸しください。

そして2026年には 樹徳会が100周年を迎えます。節目の年を共に過ごし、新たな歴史を刻んでいきましょう。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



追悼 中野淑夫 初代会長 ご逝去を悼んで

同志社会計人会 相談役 高橋 一浩

同志社会計人会の生みの親、中野淑夫先生が2022年7月28日にご逝去されました。享年89歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

見晴らしの素晴らしい京都ホテル17階の宴会場アポロンで開催された会計人会創立総会において、ときばきと議事運営をなされていた光景がいまだに臉に焼き付いています。

同志社大学の商学部で教鞭をとっておられた時代には私も至誠館での監査論の授業を受けました。試験問題が「qualified report」について述べよ、というアカデミックかつ実務的なものであったことが大変印象に残っています。

私が会計人会や公認会計士協会京滋会の会長時代には、懇親会の二次会でいろいろなお店に連れて行って頂きました。特に会計人会の総会・懇親会の二次会では八田総長や来賓の方々と共に鴨川の川床で京情緒を満喫させていただいたことは感謝に堪えません。

ご趣味が多様で、囲碁や茶道を嗜まれ、意外にも私も趣味としている野菜作りにも熱心に取り組まれておられ、菜園の秘術をも伝授して頂きました。

公認会計士としては清友監査法人を設立され、税理士としても京都随一の事務所を育て上げられました。また著名企業をはじめ、学校法人や公的な諸団体の役員をたくさんお務めになっており感服するばかりです。

公認会計士試験の試験委員も歴任され、会計士協会本部・地域会の役員にもご就任されて、我々の業界を強くけん引して頂いた恩人であります。

私の監査法人勤務時代の先輩に先生のゼミ生がおられ、東京勤務の方だったのですが、京都に出張で来られた際には必ず先生に連絡を取って今出川の事務所に会いに行っておられました。多分そのあと美味しいものをご相伴されていたのだと思います。教え子や業界の若手会計人の面倒見の良さには皆様も恩恵を受けておられると思います。

先生が常に言っておられたのは、「当たり前のようにいつもと同じことをやっていたら駄目だ。工夫して知恵を働かせて新しいことをやりなさい。」ということでした。私自身はなかなか実践できずに、現状にとどまっているばかりで反省しております。

今も先生の激励のお言葉が聞こえてきそうです。

九州支部だより



九州支部長
浅枝 秀隆

昨年は大恩人である中野淑夫先生が亡くなられ悲しみの極みだったのですが、今年になって相次いで会計人会の足立光三君と田島和徳君が亡くなりました。二人は私の一年後輩になります。一緒に中野先生の指導の下会計士試験の勉強を行った仲間でした。私たちも年ですので元気なうちに集まろうと湯浅君のお世話で「兩人を偲ぶ会」を6月17日に行いました。二人の思い出や近況とくに体調などに

ついて話に熱が入りました。

さて、良いお知らせがあります。熊本地震で被害甚大だった同志社ゆかりの「徳富蘇峰記念館」が復旧完成しました。近くなので見てきました。丁度何かの取材があって、熊本市の文化財担当の学芸員がおられて、同志社ゆかりの方なら是非見てほしいものがありますと数か所説明を受けました。まるでプラタモリになった気分でした。次の機会は私が説明しますので熊本に是非お越しください。



〈第4回〉 新島先生の足跡を訪ねる旅 ～同志社ゆかりの「今治教会」をたずねて～

2023年6月2日(金)～3日(土)

総務・研修担当役員 堀 浩司

線状降水帯にもめげずに

2023年6月2日(金曜日)は、コロナ禍で延び延びになっていた同志社会計人会「今治ツアー」～同志社ゆかりの「今治教会」を訪ねて～の催行日。

前日のテレビのニュースは「大型の台風2号と梅雨前線の影響で線状降水帯が発生し、2日の県内(愛媛県)は、局地的に雷を伴って大雨の危険度が急激に高まる可能性がある」、「JR西日本、JR四国では全面運休の可能性もある」と報道されていました。

そして、当日、午後1時、JR今治駅です。多少、集合時間きっかりではありませんでしたが、参加者16人が全員揃いました。乗るはずの電車が動かなかったり、途中からレンタカーで今治へ駆けつけたりと、誰しもが全員の集合は難しいと思っていただけに、これも皆さんの日頃の行いのたまものでしょうか。

最初の目的地、待ち望んだ今回のツアーの目的地、今治教会はJR今治駅から徒歩10分程度。午後からは心配していた雨も小ぶりとなり、同志社大学・大学院ご出身の木谷誠牧師と今治教会員のご婦人方が、併設されている幼稚園のイメージからでしょうか、赤いといんがり屋根の上に十字架が立つ可愛い建物の教会で出迎えてくださいました。木谷牧師も大雨の影響で参加者全員が揃うとは思っておられなかったようで、喜んで迎えていただきました。



今治教会と同志社とのご縁

その今治教会で木谷牧師のお祈りと共に礼拝が始まりました。木谷牧師の奥さまのオルガンの伴奏と共に、数十年ぶりに讃美歌を歌いました。高校時代、最後まで全うすることができずお恥ずかしいのですが、2年弱ホザナコーラスに在籍し毎朝、礼拝堂で讃美歌を歌っていた頃を懐かしく思いました。

礼拝の後は、木谷牧師から、今治教会と同志社との深いかわりについてのお話をうかがいました。

教会のホームページでは、「宗教法人日本キリスト教団 今治教会は1879年(明治12年)、アメリカン・ボードの宣教師であった、J・L・アッキンソンと7名の信徒によって、四国の地で最初のプロテスタント・キリスト教会として創立されました。それ以来、140年を超える年月を今治の地とともに歩んでいます。」とあります。

今治教会の初代牧師は熊本バンドから同志社に転入し、後に同志社第3代社長(今の総長)に就任した横井時雄氏が、就任しています。

2016年4月より第15代今治教会牧師に就任された木谷牧師に至る今治教会の牧師の方々すべてが同志社出身者という深いつながりが私たち同志社とあります。

さらに、我らの新島襄先生も今治教会設立に尽力され深くかわかっておられます。今治教会設立式では、新島襄先生が初代横井時雄牧師に授手礼(キリスト教で、牧師など聖職に就く者を授手によって聖別し、任命する儀式)を施しています。

新島襄先生もこの今治教会の地に立たれていたのです。

最後に同志社カレッジソングを全員で歌いましたが、木谷牧師は大学ではグリークラブに属されていたということで、その美声が礼拝堂に響き渡っていました。

台風一過の絶景に見とれて

今治教会を後にして宿泊先の今治国際ホテルに向かう頃には、雨も上がっていました。

夕食は、来島海峡大橋を一望できるロケーションも抜群の人気店「海峡料理伊豫水軍」。激しい流れの来島海峡に住む鯛をはじめとする魚たちは、身が引き締まり、最高の旨味です。

そんな料理に舌鼓を打っていると、誰かが驚嘆の声を上げました。外の景色、来島海峡に浮かぶ、しまなみ海道の橋にかかる靄が夕日に照らされて赤いシルエットとなり幻想的な風景を醸し出しています。全員、箸をとめて、外に飛び出し、その風景に見とれていました。

東洋のマチュピチュを訪ねて

翌3日(土曜日)は台風一過、空は晴れ渡り気持ちの良い朝を迎えました。朝食後、なかなか行く機会がない今治から車で1時間ほどの新居浜市にある別子銅山跡地テーマパーク「マイントピア別子」へ観光バスで向かいました。

今回の研修旅行では、全国の観光スポットを知り尽くし、その名ガイドぶりで引っ張りだこの観光ガイド木村純子さんにも加わっていただき、車中でその名ガイドぶりに酔いしました。実は前日、今治城へ行く予定だったのですが、足元がぬかるんでいることもあり、全員での観光は中止となりました。そこで、今治教会で木村さんに今治城の観光ガイドをしていただきました。実際に訪れているようなイメージが湧く名解説でした。

別子銅山は1973年(昭和48年)の閉山まで、険しい山中にもかかわらず300年弱にわたって銅を掘り出していました。大正から昭和にかけての最盛期の拠点であった東平(とうなる)地区は標高750メートルの山肌に位置し、銅山設備の周りに社宅・小中学校・娯楽場・接待館が建てられていました。山肌の斜面に何段もの棚田のような土地を作り、そこに建物が建てられていたそうです。その残された銅を下に降ろしていく建物が四段にわたって残っていて、それが天空の歴史遺産「東洋のマチュピチュ」と称せられています。なかなか、圧巻のテーマパークでした。



和やかに集い人を知る

マイントピア別子で昼食後、JR新居浜駅に向かい午後2時に解散となりました。現地集合、現地解散で皆さんとすごした時間はちょうど1日、べったり一緒というスケジュールでないのも良いですね。

私は、昨年度から同志社会計人会の総務・研修のお手伝いをさせていただいています。しかし、何度かの会合だけでは、なかなか皆さんとお話する機会がなかったのですが、短時間とはいえ、一緒に旅をすると、いつしか和やかにお話ができました。他大学の会計人会では、出身別に公認会計士、税理士それぞれが別々に会を作っていると聞きます。出身にこだわらず会計を仕事とする者が集う同志社会計人会は、まさに同志社スピリットに則った宥和の精神(相手を寛大に扱って、仲よくすること)に裏打ちされた集いだと思います。まずは、人を知ること。その意味でも、みんなで各地に足を運ぶ研修旅行は有意義だと思います。

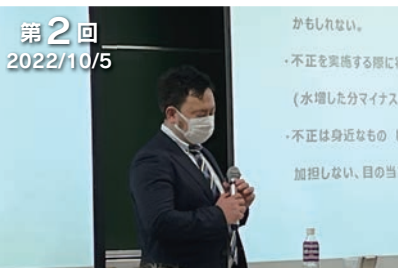
最後に、幹事役を務められた植田益司前会長の細やかなご配慮が、お天気までもを味方につけ、今回の研修旅行を成功に導いたのだと確信しています。ありがとうございました。



講座の趣旨
同志社大学教授 志賀 理
同志社会計人会と寄付講座の意義
同志社会計人会/公認会計士 植田 益司
公認会計士・税理士の会計における役割
公認会計士 永谷 真幸

同志社会計人会(2022年度)寄付講座 報告 現代における会計の役割

教室：良心館 206 番教室 (対面講義のみ)



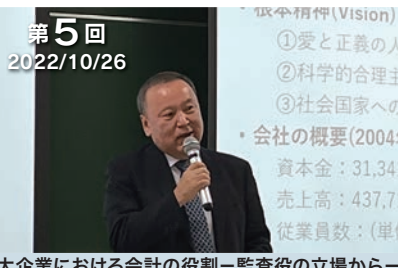
大企業における会計の役割ー作成者の立場からー
会計・監査の現場、会計不正
公認会計士 大北 昌弘



大企業における会計の役割ー経営者の立場からー
大企業における会計活用法
J R東海 顧問 須田 寛



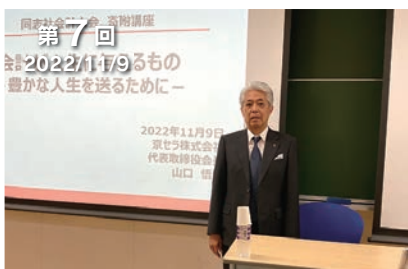
大企業における会計の役割ー税務の立場からー
大企業では、会計と税務は、どのような関係にあるのか?大企業の税務とは?
公認会計士/税理士 宮井 秀明



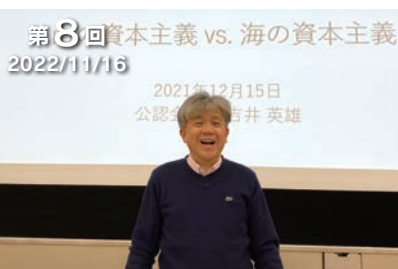
大企業における会計の役割ー監査役の立場からー
コーポレートガバナンスと会計の役割
株 株式会社フロンティア国際常勤監査役
元カルビー株式会社常勤監査役 平川 功



大企業における会計の役割ー投資家の立場からー
ESGと会計の役割
公認会計士 梨岡 英理子



大企業における会計の役割ー経営者の立場からー
会計が人生に与えるもの～豊かな人生を送るために～
京セラ株式会社 代表取締役会長 山口 悟郎



大企業における会計の役割ーM&Aの立場からー
M&Aと会計の役割
公認会計士 吉井 英雄



中小企業における会計の役割ー経営者の立場からー
中小企業経営と会計の役割
滋賀石油株式会社 代表取締役社長 芝野 哲郎



中小企業における会計の役割ー経営者の立場からー
中小企業経営と会計の役割
株式会社南陽商会 代表取締役 南 美樹



ベンチャー企業における会計の役割ー投資家の立場からー
投資決定と会計の役割
元 大阪中小企業投資育成会 関 兵馬



債権者における会計の役割ー銀行の立場からー
銀行経営と会計の役割
元京都銀行 支店長 山口 祝嗣



税務署における会計の役割ー税務署の立場からー
税務署の役割と会計の役割
大阪国税局 調査第一部 調査総括課 課長 黒田 豊



地方自治体における会計の役割ー外部監査人の立場からー
地方自治体の会計と監査
税理士 中村 清之・税理士 小林 由香



国家と会計検査ー税金のムダ遣いをいかにチェックしているかー
会計検査院長 森田 祐司
総括 同志社大学教授 志賀 理

現代における会計の役割

- 毎週水曜日 3 講
(13:10PM~14:40PM)
■ 教室未定（対面講義のみ）

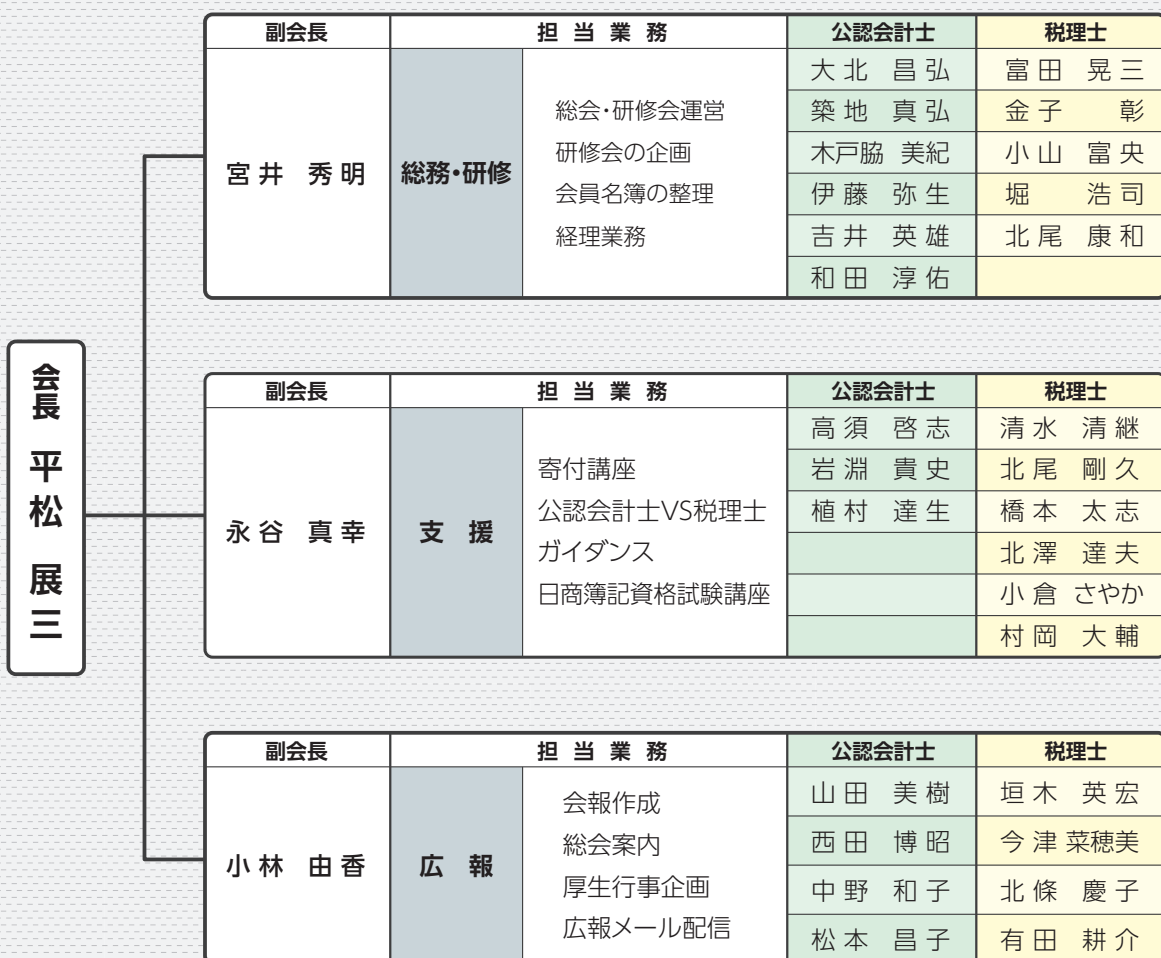
日時	講 師	講義内容
第1回 2023/9/27	同志社会計人会／税理士 平松 展三	講座の趣旨、同志社会計人会と寄付講座の意義
	同志社大学教授 志賀 理	公認会計士・税理士の会計における役割
第2回 2023/10/4	JR東海 顧問 須田 寛	大企業における会計の役割－経営者の立場から－ 大企業における会計活用法
第3回 2023/10/11	公認会計士 大北 昌弘	大企業における会計の役割－作成者の立場から－ 公認会計士による監査の実務
第4回 2023/10/18	株式会社エスケーエレクトロニクス 取締役 向田 泰久	大企業における会計の役割－上場会社役員の立場から－ コーポレートガバナンスと会計の役割
第5回 2023/10/25	公認会計士 吉井 英雄	大企業における会計の役割－M&Aの立場から－ 企業の売買価格はどうか決まる？～事例を中心に～
第6回 2023/11/1	公認会計士 梨岡 英理子	大企業における会計の役割－投資家の立場から－ 非財務情報の役割
第7回 2023/11/8	京セラ株式会社 代表取締役会長 山口 悟郎	大企業における会計の役割－経営者の立場から－ 会計が人生に与えるもの～豊かな人生を送るために～
第8回 2023/11/15	公認会計士/税理士 宮井 秀明	大企業における会計の役割－税務の立場から－ 大企業では、会計と税務は、どのような関係にあるのか？大企業の税務とは？
第9回 2023/11/22	税理士 北尾 剛久	中小企業における会計の役割－税務の立場から－ 税理士業務の現場
第10回 2023/12/6	株式会社南陽商会 代表取締役 南 美樹	中小企業における会計の役割－経営者の立場から－ 中小企業経営と会計の役割
第11回 2023/12/13	元 大阪中小企業投資育成会社 関 兵馬	ベンチャー企業における会計の役割－投資家の立場から－ 投資決定と会計の役割
第12回 2023/12/20	元京都銀行 支店長 山口 祝嗣	債権者における会計の役割－銀行の立場から－ 銀行経営と会計の役割
第13回 2024/1/10	大阪国税局 堺税務署長 加藤 敏博	税務署における会計の役割－税務署の立場から－ 税務署の役割と会計の役割
第14回 2024/1/17	税理士 中村 清之	地方自治体における会計の役割－外部監査人の立場から－ 地方自治体の会計と監査
第15回 2024/1/24	会計検査院長 森田 祐司	国家と会計検査 税金のムダ遣いをいかにチェックしているか
	同志社大学教授 志賀 理	総括

- (注) 1. 同志社会計人会の会員は、当日教室の受付で申込みをすれば、この寄付講座を受講することができます。
2. 本講座は、教室で受講いただいた場合は、日本公認会計士協会の継続的専門能力開発制度 (CPD) の認定研修になる予定です。但し、第1回講義は除きます。
なお、教室は、当会ホームページにて初回講義日までにお知らせします。
3. 上記の講師は、変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

同志社会計人会 検索

(所属組織・役職等は、2023/8/1現在のものです)

《同志社会計人会》令和4年～5年度 組織図



相 談 役	林 伸三郎	湯 浅 光章	松 田 進
	長谷川 正治	辰 巳 修偉	堀 村 不器雄
	中 村 清之	蔭 山 幸男	辻 本 真也
	高 橋 一 浩	伊良知 弘敏	植 田 益 司

	公認会計士	税理士
監 事	西 村 猛	汐 瀬 雅 彦

顧 問	加 藤 盛弘	稲 見 亨	河 合 隆 治
	鵜 飼 哲夫	中 川 優	志 賀 理
	瀧 田 輝己	櫻 井 貴憲	田 口 聡志
	百合野 正博	佐 藤 誠二	山 本 達 司
	松 本 敏 史		

	公認会計士	税理士
関東支部	佐々木 博章	—
北陸支部	林 幹 二	—
東海支部	伊 藤 秀 人	—
中国支部	—	親 谷 順 子
九州支部	浅 枝 秀 隆	—

同志社会計人会 第28回定期総会 ならびに 研修会・懇親会開催のお知らせ

開催日	令和5年 9月23日(土)		
開催場所	定期総会及び研修会	都ホテル京都八条	
	懇親会	同上	
会 費	1万円(懇親会ご出席の方のみ)		
時 間	定期総会	15時30分～16時00分	受付は、15時00分～
	研修会	16時15分～17時45分	
	【講 師】森田 祐司 会計検査院長		
	【テーマ】同志社から監査法人、そして会計検査院		
	【講師 ご経歴】1982年 監査法人トーマツ入所		
	同年 同志社大学経済学部卒業		
	2011年 検査官就任		
	2019年 会計検査院長就任		
	懇親会	18時00分～20時30分	

※当研修会は、日本公認会計士協会のCPDの認定研修になる予定です。
当日参加された方は、研修参加者名簿に 研修登録番号及び署名をお願いいたします。



新入会員紹介

(敬称略)

氏名	卒業年度	学部	資格
タナカ コウジ 田中 耕司	昭和56年	商学部	その他
ヤマダ ヒロカズ 山田 弘一	昭和58年	商学部	税理士
ウエムラ ヒロフミ 上村 洋文	昭和62年	経済学部	税理士
ニシモト ヒデアキ 西本 英明	昭和55年	法学部	公認会計士、税理士
モリグチ ユウセイ 森口 雄成	令和4年	経済学部	公認会計士試験合格者
キムラ ケンジ 木村 健二	平成18年	商学部	税理士

氏名	卒業年度	学部	資格
タナカ イサオ 田中 功	昭和63年	経済学部	公認会計士
ナカガワ タカシ 中川 貴史	平成22年	法学部	公認会計士
オオウエ アキト 大植 彰人	平成23年	文化情報学部	公認会計士
キタムラ トモカズ 北村 友和	平成10年	商学部	税理士
クロダ アキヨ 黒田 晃代	平成6年	商学部	税理士

(令和4年7月1日から令和5年6月30日まで)

編集後記

昨年の定期総会をはじめ、冬季研修会、親睦旅行と行事を対面で開催することができました。親睦旅行「新島先生の足跡を訪ねる旅」(今治ツアー)は、大雨で四国方面行きの鉄道運休の可能性もあるなか、企画からお世話いただいた植田前会長と平松会長のリーダーシップのもと、奇跡的に参加者全員が現地に集合できました。コロナ禍で延期になって4年ぶりの実現となりました。

秋学期の寄付講座「現代における会計の役割」も完全対面講義となり、学生さん、講師陣とも以前にも増して、活気に満ちた時間を共有できたのではないかと思います。

同志社会計人会が、故中野淑夫初代会長が仰っていた「同志社で学んだ会計人が母校に寄与し、親しく集まれる場」として次世代に受け継がれますよう祈念しつつ編集を終わらせていただきます。

(広報担当副会長 小林由香)